



▲石岡第一高等学校 硬式野球部と少年野球チーム 杉並ライオンズの皆さん

世代を越えて白球をつなぐ！

石岡一高野球部×杉並ライオンズ 交流練習会

石 岡第一高等学校のグラウンドにて、1月11日
 回、同校硬式野球部と少年野球チーム「杉並
 ライオンズ」による交流練習会が行われました。普段
 は世代も立場も異なる両チームですが、この日は「野
 球」という共通の競技のもと、互いに学び合い、刺激
 し合う貴重な時間となりました。

地域とのつながりから生まれた交流

杉並ライオンズは、平日の夜間練習において、ナイ
 ター設備のある石岡第一高等学校のグラウンドを週1
 回利用しています。日頃からのこうした関係をきつか
 げに、「両指導者の「地域に貢献したい」「次世代につ
 なげたい」という思いが重なり、今回の交流練習会が
 実現しました。

当日は、高校生と小学生が合同でキャッチボールや
 ノックを行ったほか、フリーバッティングやベースラ
 ニングなどに取り組みました。高校生は気さくに声
 をかけながら、小学生と共にプレーを楽しんでいまし
 た。最初は少し緊張していた小学生も、次第に高校生
 の輪の中に入り込み、笑顔でボールを追いかける姿が
 見られました。



＼両キャプテンに聞きました！／
選手たちの声 ～世代を超えた交流～



石岡第一高等学校 硬式野球部
たやまひろき
田山尋幹 主将（2年生・外野手）

自分も少年野球をやっていましたが、高校生と触れ合う機会はありませんでした。今回の交流は、小学生にとってすごく良い経験になったと思います。この練習をきっかけに、中学校、高校と野球を続けてくれたら嬉しいです。



杉並ライオンズ
よしおかあゆむ
吉岡歩夢 主将（5年生・捕手）

高校生と一緒に練習することはめったにないので、とても良い経験ができました。チームの中には、目標にしたい選手ができた人もいます。このような機会をいただき、とても感謝しています。ありがとうございました。

//////// 指導者の皆さんが語る「続ける野球」の大切さ //////////



【写真左から】

石岡第一高等学校 林部長・飛田監督
杉並ライオンズ 成田監督・岡野総監督

林部長（石岡第一高等学校）

野球ができるのは保護者や地域の支えがあってこそです。道具や周囲への感謝を忘れず、これからも野球を続けてほしいです。

飛田監督（石岡第一高等学校）

地元貢献したいという思いから実現した交流です。この経験が、野球を長く続けるきっかけになれば嬉しいです。

成田監督（杉並ライオンズ）

高校生のプレーを間近で見られる貴重な機会になりました。この経験が、子どもたちが野球を続ける励みになればと思います。

岡野総監督（杉並ライオンズ）

地元で野球を続け、将来は地域に貢献してほしいです。こうした交流を通して、石岡市の野球人口を増やしていきたいですね。

//////// 白球がつなぐ、地域とともに育つ石岡の未来 //////////



今回の交流練習会は、技術の向上だけでなく「野球を続ける楽しさ」や「地域で育つ喜び」を次の世代へ伝える機会となりました。石岡の地で育った選手たちが、やがてまた次の世代を支える。そんな好循環が、たしかに始まっています。



▲当日の練習風景を動画
(限定公開)でお届け！

